

杉並区松ノ木運動場外5施設の指定管理者候補者の選定結果について

松ノ木運動場外5施設(松ノ木運動場、永福体育館、下高井戸運動場、下高井戸区民集会所、下高井戸おおぞら公園、下高井戸おおぞら公園スポーツコート)の指定管理者候補者について、公募型プロポーザル方式により募集したところ、1事業者から応募がありました。この事業者について、「杉並区プロポーザル選定委員会条例」に基づき設置した「杉並区松ノ木運動場外5施設指定管理者候補者選定委員会(以下「選定委員会」という。)」において審査・選定し、以下のとおり指定管理者候補者を決定しましたので報告します。

1 選定事業者の概要

杉並スポーツ・カルチャー共同事業体(共同事業体)

事業者名	所在地	設立日
株式会社東京アスレティッククラブ(代表団体) 代表取締役 正村 宏人	中野区中野二丁目14番16号	昭和44年 2月6日
東京フットボールクラブ株式会社 代表取締役社長 川岸 滋也	江東区猿江二丁目15番10号	平成10年 10月1日
日本管財株式会社 支配人 高田 康行	中央区日本橋二丁目1番10号	昭和40年 10月27日
日本体育施設株式会社 代表取締役社長 越後 幸太郎	中野区東中野三丁目20番10号	昭和46年 5月10日

2 選定経過等

選定委員会が定めた審査基準に基づき、第一次審査(書類審査)及び第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング審査)を実施し、第一次審査の評価点数が配点数の6割以上で、かつ各審査の合計評価点数が配点数の6割以上を得たことにより、応募事業者を指定管理者候補者として選定した。選定結果は別紙のとおり。

<選定経過>

令和8年	1月15日	選定委員会設置、第1回選定委員会開催
	1月26日	公募開始
	2月5日～2月12日	募集説明会、現地見学会を実施
	3月13日	公募締切(1事業者応募)
	4月14日	第2回選定委員会開催(第一次審査実施)
	4月27日	第3回選定委員会開催 (第二次審査実施、指定管理者候補者の決定)

<選定委員会の構成>

職名等	氏名
国士舘大学大学院 特任教授	菊 幸一 (会長)
東京都立大学都市環境学部 教授	奥 真美
公益財団法人東京都公園協会 公園事業部長	久間 亜紀 (～令和8年3月31日) 根来 千秋 (令和8年4月1日～)
杉並区スポーツ・レクリエーション協会 会長	野田 信雄
区民生活部長	寺井 茂樹
区民生活部文化・スポーツ担当部長	阿出川 潔
都市整備部土木担当部長	三浦 純悦

3 指定期間

施設名	指定期間
松ノ木運動場、永福体育館、下高井戸運動場、 下高井戸区民集会所	令和9年4月1日～令和14年3月31日 (5年間)
下高井戸おおぞら公園、下高井戸おおぞら公園 スポーツコート	令和8年10月1日～令和14年3月31日 (5年6か月間)

4 今後の主なスケジュール (予定)

令和8年 6月 議決後に次期指定管理者との協議を開始

10月 指定管理者による下高井戸おおぞら公園、下高井戸おおぞら公園スポーツコートの
管理運営を開始

令和9年 4月 指定管理者による松ノ木運動場、永福体育館、下高井戸運動場、下高井戸区民集会所
の管理運営を開始

杉並区松ノ木運動場外5施設指定管理者候補者の選定結果

		評価項目		合計 配点数	評価点数(各委 員合計点数)
第一次審査 (書類審査)	法人の 適格性	経営状況、 運営実績、 区内事業者 (加点)	財務状況	56点	42点
			労務管理状況	28点	21点
			類似施設の運営実績	28点	25点
			区内事業者(加点)	28点	14点
		社会的責任	従事者の権利擁護、労働環境の確保	56点	38点
			情報公開、個人情報保護	56点	40点
			区の施策や社会課題への理解・取組	56点	40点
	企画提案の 妥当性	基本方針	施設の管理運営に関する考え方・理念	56点	50点
		管理運営業務 (施設全体)	グループ化による効率的・効率的な管理運営	56点	50点
			区民(利用者)の立場にたった質の高いサービス	28点	25点
			施設利用促進に向けた取組	28点	24点
			安全・安心な運営のための取組	28点	23点
		維持管理業務 (施設全体)	適正な維持管理についての考え方	56点	50点
		公園の管理業務	公園の管理運営・維持管理の考え方	56点	40点
		組織・人員	組織体制及び人員配置	56点	41点
		事業の提供	一般使用・スポーツの日イベント等	56点	48点
			スポーツ教室等の考え方・内容	56点	44点
			地域に根差した取組	56点	50点
			公園を含めた施設の一体活用	84点	60点
			その他の自主事業	28点	22点
	収支計画	積算内容の妥当性	56点	38点	
		経費縮減や収入確保の取組	28点	20点	
	一次審査合計				1,036点
(プレゼン ター シ ョ ン ・ ヒ ア リ ン グ 審 査)	適法 格人 性の	類似施設の運営実績	112点	92点	
		社会的責任	56点	40点	
	企画 提案 の 妥 当 性	応募動機・取組姿勢	112点	88点	
		管理運営における創意工夫・独自性	112点	84点	
		施設全体の管理運営・維持管理	56点	36点	
		公園の管理運営・維持管理	56点	36点	
		組織体制及び人員配置	84点	62点	
		事業の提供	一般使用、スポーツの日イベント、スポーツ教室等	84点	69点
			地域に根差した取組	56点	42点
	公園を含めた施設の一体活用		84点	51点	
	その他の自主事業		56点	36点	
提案内容に対する総合評価			112点	88点	
二次審査合計				980点	724点 (73.9%)
一次審査・二次審査 総計				2,016点	1,529点 (75.8%)

【応募事業者】

杉並スポーツ・カルチャー共同事業体

(株式会社東京アスレティッククラブ、東京フットボールクラブ株式会社、日本管財株式会社、日本体育施設株式会社)

○評価点内訳表

		評価項目	配点	委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員⑥	委員⑦	委員合計		
第一次審査 (書類審査)	法人の 適格性	経営状況、 運営実績、 区内事業者 (加点)	財務状況	56点	6点	6点	6点	6点	6点	6点	6点	42点	
			労務管理状況	28点	3点	3点	3点	3点	3点	3点	3点	21点	
			類似施設の運営実績	28点	4点	4点	3点	4点	3点	4点	3点	25点	
			区内事業者(加点)	28点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	14点	
		社会的責任	従事者の権利擁護、労働環境の確保	56点	6点	4点	6点	6点	6点	6点	6点	4点	38点
			情報公開、個人情報保護	56点	6点	6点	6点	6点	6点	6点	6点	4点	40点
	区の施策や社会課題への理解・取組		56点	6点	4点	6点	6点	6点	6点	6点	6点	40点	
	企画提案の 妥当性	基本方針	施設の管理運営に関する考え方・理念	56点	8点	6点	8点	8点	8点	6点	6点	50点	
		管理運営業務 (施設全体)	グループ化による効果的・効率的な管理運営	56点	8点	6点	8点	8点	8点	6点	6点	50点	
			区民(利用者)の立場にたった質の高いサービス	28点	4点	4点	4点	3点	3点	4点	3点	25点	
			施設利用促進に向けた取組	28点	4点	3点	3点	4点	3点	4点	3点	24点	
			安全・安心な運営のための取組	28点	4点	3点	4点	3点	3点	3点	3点	23点	
		維持管理業務 (施設全体)	適正な維持管理についての考え方	56点	8点	6点	6点	8点	8点	8点	6点	50点	
		公園の管理業務	公園の管理運営・維持管理の考え方	56点	6点	4点	4点	6点	8点	6点	6点	40点	
		組織・人員	組織体制及び人員配置	56点	6点	5点	6点	6点	8点	6点	4点	41点	
		事業の提供	一般使用・スポーツの日イベント等	56点	8点	8点	6点	6点	8点	6点	6点	6点	48点
			スポーツ教室等の考え方・内容	56点	8点	6点	6点	6点	8点	6点	6点	4点	44点
			地域に根差した取組	56点	8点	6点	6点	8点	8点	8点	6点	6点	50点
			公園を含めた施設の一括活用	84点	9点	6点	9点	9点	12点	6点	9点	9点	60点
			その他の自主事業	28点	3点	3点	3点	3点	4点	3点	3点	3点	22点
		収支計画	積算内容の妥当性	56点	6点	4点	6点	6点	6点	6点	6点	4点	38点
	経費縮減や収入確保の取組		28点	3点	2点	3点	3点	3点	3点	3点	3点	20点	
	一次審査合計			1,036点	126点	101点	114点	120点	130点	114点	100点	805点	
(プレゼンテーション 第二次審査 ヒアリング審査)	適格性の	類似施設の運営実績	112点	12点	16点	12点	16点	12点	12点	12点	12点	92点	
		社会的責任	56点	6点	6点	6点	6点	4点	6点	6点	6点	40点	
	企画提案の 妥当性	応募動機・取組姿勢	112点	12点	16点	12点	12点	12点	12点	12点	12点	88点	
		管理運営における創意工夫・独自性	112点	16点	12点	12点	12点	12点	8点	12点	12点	84点	
		施設全体の管理運営・維持管理	56点	4点	6点	6点	6点	6点	4点	4点	4点	36点	
		公園の管理運営・維持管理	56点	4点	6点	6点	6点	4点	6点	4点	4点	36点	
		組織体制及び人員配置	84点	9点	9点	8点	11点	7点	10点	8点	8点	62点	
		事業の提供	一般使用、スポーツの日イベント、スポーツ教室等	84点	12点	12点	9点	9点	9点	9点	9点	9点	69点
			地域に根差した取組	56点	8点	6点	6点	6点	4点	6点	6点	6点	42点
			公園を含めた施設の一括活用	84点	6点	6点	9点	9点	6点	9点	6点	6点	51点
	その他の自主事業		56点	6点	6点	4点	6点	4点	6点	4点	4点	36点	
	提案内容に対する総合評価			112点	16点	12点	12点	12点	12点	12点	12点	88点	
	二次審査合計			980点	111点	113点	102点	111点	92点	100点	95点	724点	
一次審査・二次審査 総計			2,016点	237点	214点	216点	231点	222点	214点	195点	1,529点		

企画提案書の概要版

団体名 杉並スポーツ・カルチャー共同事業体

○施設の管理運営に関する基本方針・取組姿勢

管理運営の基本方針と取組姿勢

- ▶ 私たちは、「健康スポーツライフ杉並プラン」の将来像である「健康スポーツライフ杉並～始める続ける 広がる スポーツを通じた絆のあるまち～」の実現に向け、「**だれもが、いつでも、安心して使える“地域の健康インフラ”として、スポーツを始める・続ける・広げる機会を最大化する**」を基本理念に掲げ、この理念に基づき「3つの基本方針」に沿った管理運営を行います。

基本方針 1:「多様目」「多世代」「多志向」「多様性」を意識した事業展開

基本方針 2:誰もが「安全安心」「快適」に利用できる施設づくり

基本方針 3:「地域と協働」によるスポーツ推進により地域を活性化

- ▶ 次期指定管理期間においては、「**東京アスレティッククラブ**」「**東京フットボールクラブ**」「**日本管財**」「**日本体育施設**」の4社の共同事業体により、国や区の施策また、区のスポーツ課題に対して、スポーツの力で社会課題解決を図り、区とともに歩む最高のパートナーとして、区民や地域の様々な機関・団体と連携して、ニーズに沿った満足度の高い施設運営と地域の活性化を目指します。

○施設全体の管理運営業務の考え方

グループ化による効果率・効率的な管理運営

- ▶ 地域を面として捉え、「**地域スポーツと健康づくりの拠点エリア**」として一体的に管理運営するエリアマネジメント方式により管理運営を行います。
- ▶ グループ化により、人的配置の効率化を図るとともに、スケールメリットを活かした維持管理、広告宣伝、イベントによりコストを縮減します。

区民(利用者)の立場にたった質の高いサービス

- ▶ 利用者からの要望等については、些細な要望でも、真摯に受け止め、業務改善に反映します。
- ▶ **利用者の声を反映した様々なサービス向上策**により区民から信頼される施設づくりに臨みます。

【サービス向上策】

- ・レンタルロッカーの増設
- ・各種競技用具の貸出を実施
- ・キャッシュレス決済の導入
- ・Wi-Fi 環境を整備
- ・体組成計の導入
- ・キッズスペースの整備
- ・チャージスポットの設置
- ・カウンターを設置、機の増設
- ・和室の畳替えの実施
- ・生理用品を無料で配布
- ・トレーニングマシンのリニューアル
- (マシン入替・ストレッチマシン導入・SONIX 導入) など

施設利用促進に向けた取組

- ▶ 私たちは、次の4つの視点から本施設の利用促進に向けた取組を実施します。

1.周知・啓発活動による利用促進

- ・広報活動(ホームページ・SNS・チラシ・区広報等)
- ・ビーチコートアンバサダーの専任
- ・スポーツツーリズムの推進 など

2.利用機会の拡充

- ・スケールメリットを生かし充実した事業を展開 など

3.利用環境の改善

- ・利用者の意見を反映した利用者サービス策を実施 など

4.地域団体との協働・連携

- ・地域団体と連携したイベント等の事業展開
- ・アウトリーチ活動の実施 など

安全・安心な運営のための取組

- ▶ 本施設独自の「**危機管理基本計画**」を策定し、災害に対する具体的な対策を準備します。
- ▶ 緊急時における**指揮命令系統を一本化**し、即座に連絡が取れる体制を構築します。
- ▶ 本施設における緊急時に対して、全職員が的確に行動できるよう、施設特性に応じた**各種対応マニュアル(災害・火災・事故等)**を整備します。
- ▶ 災害、火災、事故、事件等に対して、平常時からの準備をしっかりと行うとともに、各種事案発生時には、**各種対応フローに則り迅速かつ適切な対応を実行**します。また、**各種保険に加入**します。
- ▶ 新たな感染症が発生する可能性も十分に考え、有事の際には、感染症が拡大傾向になる前に、**感染拡大予防策**を直ちに講じ、高い安全対策のもとに利用者のスポーツ活動を支えていきます。
- ▶ 各施設において安全対策を施し、利用者が安全に運動・スポーツを行える環境を構築します。

○施設全体の適正な維持管理についての考え方

利用者の安全、快適性確保に向けた維持管理

- ▶ 施設・設備の日常点検、定期点検、法定点検の実施方針を明確に定め、確実に実施するとともに、**常駐設備員を1名配置**し、各施設を巡回点検で対応することで業務の効率化を図ります。
- ▶ 清掃業務は、本施設の機能・美観を保ち、清潔な環境が保たれるよう清掃作業を行います。
- ▶ 故障・不具合が生じる前に設備異常を発見し、未然に防止策を実施する「**予防保全**」を行うことで「**安全性・利便性・快適性**」を保ちます。
- ▶ 修繕が必要な事象が発生した場合は、対応フローに則り、利用者へ不便を与えることがないように、迅速に対応します。

企画提案書の概要版

団体名 杉並スポーツ・カルチャー共同事業体

○公園の管理業務の考え方

安心・安全・快適な公園づくり

- おおぞら公園の管理方針を以下の通りとします。

方針 1:地域のスポーツ活動の拠点としての機能強化
方針 2:利用者満足度の向上と効率的な管理運営
方針 3:地域との連携を通じた施設運営と地域活性化

- 地元関係者との確立された連携体制のもと、**地域と共に公園を育む取組を推進**します。
- 「**公園管理マニュアル**」に基づいた日常巡視と本部の定期巡視により公園の安全を確保します。
- 公園全体において利用者が常に安心して利用できる施設となるよう、最適な維持管理を行います。
- 一時避難地及び災害時の緊急着陸場候補地及び地域の安全確保の重要地点であることを認識し、**地域と共に防災機能を向上**します。
- 多様な利用者が利用する施設であることに配慮するとともに、ボランティア団体の活動に協力し、地域とともに持続可能な公園運営を目指します。

○組織体制及び人員配置

安定的に区民へのサービスを提供する組織体制

- 4社による共同事業体が管理運営を行うとともに協力団体として地域に精通する**地元団体**等を迎え、活気あふれる施設としていきます。
- 総括的責任を担う**統括責任者**を中心に現指定管理者として**経験豊富な人材を各施設に配置**し、弾力的な人員配置を行うことで安全で安定した業務を遂行します。

再委託計画

- 専門的技術を要する一部業務については、第三者委託を行うことで設備の効率的な稼働や長寿命化、施設環境の安全性を確保します。
- 再委託については、**可能な限り区内業者**を活用し、地域活性化に貢献します。

○事業の提供

一般利用・スポーツの日イベント

- 個人や友人同士、親子・家族などが気軽にスポーツに親しめる場として、曜日・時間帯ごとに種目を決めて**一般利用事業を実施**します。
- 毎年スポーツの日には、記念事業イベントとして『**スポーツフェスティバル**』を全施設で開催します。

- 日頃スポーツ行わない方がスポーツに親しめるきっかけづくりとして各種イベントを開催します。

スポーツ教室及びユニバーサルタイム等の考え方・内容

- ライフステージや参加対象(無関心・実行間近・ときどき・継続)に応じて、スポーツ振興事業における教室と自主事業としての教室を実施します。
- より多くの障害者が身近な場所で日常的、継続的にスポーツに親しめるよう年間12回以上「**ユニバーサルタイム**」を開催します。

地域に根差した取組

- 区や地域団体、関係団体等と連携し、魅力ある施設づくりを**地域と協働で実現**します。
- より多くの区民にとってスポーツが身近になるよう、地域資源を活かし、施設を中心としながら地域における各種事業を展開します。

公園を含めた施設の一体活用

- 公園の資源を活かした各種事業を展開し、**公園に来園するきっかけづくり**を行います。
- 広場ではニュースポーツ体験会や各種教室また、健康遊具を活用した健康教室を実施します。
- スポーツコート管理棟を活用し、スポーツ教室や環境啓発ワークショップを開催します。

その他の自主事業

- その他の自主事業として、物品販売・レンタル事業・カフェスペースを活用した事業・下高井戸集会所の文化的事業・おおぞら公園スポーツコート管理棟におけるデジタルサイネージの活用した事業を展開します。

○収支計画

積算内容の妥当性

- 現指定管理者として、これまでの実績に基づいた妥当性のある収支計画を策定しました。
- 近年の人件費やエネルギーコスト含めた物価高騰についても加味した支出計画により持続可能な収支計画としています。

経費縮減や収入確保の取組

- 収入面では、広報活動の強化、新たなサービス提供等により継続的に収入の増加を見込みます。
- 支出面においては、業務の内製化と6施設一体管理によるスケールメリットにより、人件費や維持管理費、広告宣伝費等を縮減します。